

再処理・リサイクル部会
平成 29 年度 第 3 回運営小委員会 議事録

1. 日時：平成 29 年 10 月 10 日（火） 13：30～16：00
2. 場所：電力中央研究所 7 階 733 会議室
3. 出席者：森田部会長、中村副部会長、魚住委員、大村委員、岡村委員、川久保委員、佐々木委員、佐藤委員、津幡委員、野上委員、山本委員、渡邊（記録）
4. 配布資料：
 - 資料 3-1 平成 29 年度 第 3 回会合 議事次第
 - 資料 3-2 平成 29 年度 第 2 回運営小委員会 議事録
 - 資料 3-3 第 1 回夏期セミナー報告
 - 資料 3-4 部会賞について
 - 資料 3-5 第 1 3 回再処理・リサイクル部会セミナーのご案内
 - 資料 3-6 第 1 3 回再処理・リサイクル部会セミナーにおけるポスターセッションについて
 - 資料 3-7 平成 29 年度第 1 回部会等運営委員会資料（企画セッション提案書、周知事項）

5. 議事概要

5. 1 前回議事録について（報告者：森田部会長）

- ・前回議事録への追加コメントなし。（資料 3-2）

5. 2 夏期セミナーについて（説明者：野上委員）

- ・夏期セミナーの開催報告が行われた。（資料 3-3）
- ・学生にはややレベルの高い内容もあったと思われるが、「核燃料サイクルにかかわる研究施設の状況について」というテーマに関し、学生および若手に刺激を与えることができたのではないかと報告があった。
- ・次年度に向けた反省事項として、以下の議論が行われた。
 - ・例年よりも開催案内を出すのが 10 日ほど遅れた。次年度はもう少し早く通知できるよう配慮すべき。
 - ・学生への旅費の支援額を 3 万円までとしているが、東京よりも西側の大学から参加する場合は不足する。このため、次年度からの旅費支援額の増額を検討することとした。
 - ・六ヶ所再処理工場の見学への学生の参加率は高く、学生が参加するモチベーションになっている。青森で夏期セミナーを行うことを継続したい。

5. 3 部会賞について（説明者：渡邊委員）

- ・部会賞に関して報告が行われた。（資料 3-4）
- ・近年、功績賞への応募がない。その原因として、功績賞の定義が幅広いために推薦しにくいのではないかと、という意見が出された。他部会の表彰規定などを参考とし、部会賞の定義の見直しを図っていくこととなった。次回の春の年会の部会全体会議で審議できるよう検討を進める

こととなった。

5. 4 春の年会の企画セッションについて（報告者：魚住委員）

- ・春の年会の企画セッションの募集があったと報告された。（資料 3-7）
- ・具体的な内容について、企画セッション担当の運営委員を中心に検討を進めることとなった。

5. 5 部会セミナーについて（説明者：佐々木委員）

- ・部会セミナーの準備状況に関して報告が行われた。（資料 3-5, 資料 3-6）
- ・開催日は 12/7、開催場所は東京都市大学世田谷キャンパスに決定された。
- ・特別講演は NDF の山名先生に実施いただくこととなった。
- ・一般講演は、「新規制基準にかかわる適合性審査について」と「重大事故に対する再処理施設の安全性向上について」というテーマで、日本原燃殿に講演いただくこととなった。
- ・例年通りにポスターセッションを設けることとなった。例年は発表ポスターを部会 HP に掲載していたが、ポスター発表の応募を妨げているという意見があることから、今年度からは希望者のみ掲載するよう変更することとなった。
- ・開催日時と開催場所などの決定事項を速やかに部会メールで配信し、プログラムが固まったら正式な案内を学会メールで配信することとなった。
- ・今後は、佐々木委員を主担当とし、部会セミナー担当の運営委員を中心に部会セミナーの準備を進めていくこととなった。

5. 6 部会等運営委員会の報告（報告者：魚住委員）

- ・部会等運営委員会での審議項目、規約類の参照方法について報告あり。（資料 3-7）

5. 7 その他

- ・部会トピックス記事が原子力学会で受理され、校正も完了した。近々原子力学会誌に掲載される予定である。
- ・フェロー推薦の時期が近づいているため、候補者の検討を進める。
- ・次回の運営小委員会は 11 月中旬を予定する。

以上